

久留米大学大学院医学研究科修士課程

医科学専攻・総合生命科学・バイオ統計学専攻(総合生命科学群)・看護学専攻

問題作成の背景

医学に関する最先端の知識や理論の大部分は英語で作成され、公表されている。現在、英語で作成された科学論文等を正しく理解できなければ、修士論文作成はおろか、研究そのものを始めることが難しいとされる。医学研究において情報収集、研究成果のまとめ、あるいは学会発表や論文作成には、英語力は必須と言える。したがって久留米大学大学院医学研究科修士課程では英語力を問う試験を実施する。

問題作成の目的

令和8年度の試験では、英語で作成された公文書に着目して、問題を作成した。公文書の公表にあたっては、外部委員の審査、パブリックコメントの収集と改定がなされ、正しい文章が作成されている。しかも最新の医学の公文書はしばしば重要な参考書となり得る。今回は医学領域での研究のテーマで必要となる最新のガイドライン、あるいは最近の医学の世界情勢の知見を深めるためのトピックスを選択した。本来であれば英語のコメントに対して、自身のコメントを英語で記載するのが望ましいと思われるが、本試験では英語を正しく理解しているかに重点を置いて英文和訳の問題を作成した。

採点方法

- 1) 前期および後期ともにそれぞれ5つの問を作成し、それぞれを20点とし、合計100点満点とした。60点以上を合格と判定した。
- 2) 1つの問の文章の中には、2つあるいは3つの文章が含まれている場合は、文章の長さや内容の難しさと、それぞれ文章に点数を配分した。たとえば、1つの問に3つの文章が含まれている場合、それぞれ7点、7点と6点の合計20点としている。
- 3) 採点は減点法を採用した。1つの文章の中で、誤字や脱字を含む誤植はその程度や数によって-1点から-5点とした。日本語として不自然な場合もその程度の度合いで-1点から-5点の減点とした。単語のみの記載や日本語の文章として成立しない場合は点数を付けずに0点とした。ただし、たとえば1つの問に3つの文章が含まれて、2つが日本語の文章として成立していなくても、残りの1文が正しい和訳がなされている場合はその文章に配分した点数はそのまま採択した。